

ベタパターンを備えた、

新世代ユニバーサル基板

メッシュプレーン ユニバーサル基板

『ベタユニ』

Type **MPU-A7** W74.25×H105×t1.6mm

Type **MPU-A8** W52.5×H74.25×t1.6mm

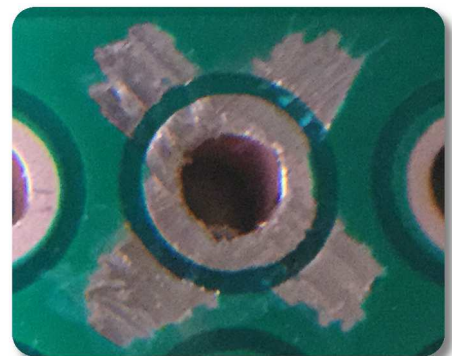
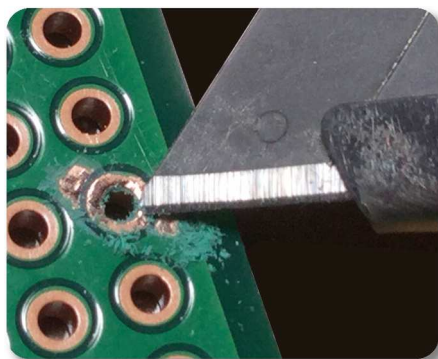
手早く簡単・確実、美観と高性能、

2ステップで、電線いらすの電源配線!

ランドから、ベタパターンへの接続は2ステップ

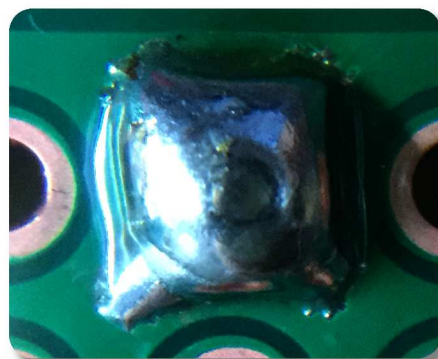
①

レジスト
はく離



②

はんだ
ブリッジ



企画・製造



Enomoto Electronics Engineering

榎本電子設計事務所

<http://www.e3office.com/>

■『ベタユニ』超入門…使い方を簡単にご紹介します

ランド(部品のリード線をはんだ付けする、ドーナツ形の銅箔)のすき間に、基板の裏表面それぞれ、ベタパターン(電気の通り道)があります。オモテ面のベタパターンをプラス側の電源配線に、ウラ面のベタパターンをマイナス側の電源配線に使われると便利です。

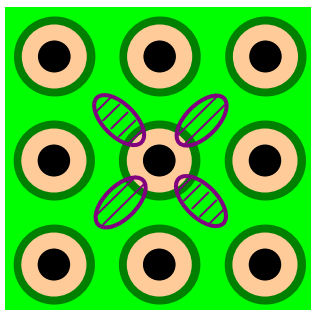
ベタパターンの上にはレジスト(緑色の絶縁耐熱コーティング)があって、このままではランドと接続できません。まちがって接続されてしまう心配もありません。

ランドをベタパターンに接続するにはまず、ランドのまわりのレジストをはがします。カッターナイフやマイナスドライバーなど、先端が硬くて細い工具が適しています。銅色の光沢が現れるまで、しっかりはがします。

ランドのまわりをぐるり1周、すべてをはがす必要はありません。1箇所のスミだけでも充分です。ランドの前後左右は、となりのランドまでの間隔がせまいため、ななめ方向をおすすめします。

レジストをはがしたら、そことランドの間をまたいでのはんだ付け(はんだブリッジ)して接続完了です。

1.

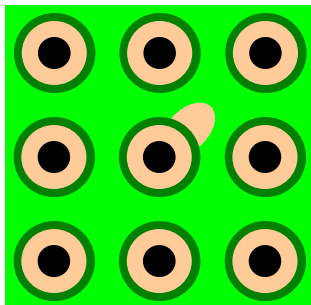


ベタパターンに接続したいランドのまわりのレジストをはがします。ななめ方向がとなりのランドまでの間隔が広いのでおすすめです。

左の図に4箇所あります  の、いずれか1箇所で充分です。



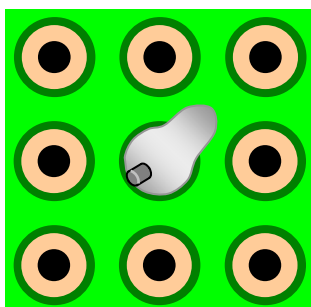
2.



カッターナイフなどで、銅色の光沢が現れるまで、しっかりはがします。



3.



部品のリード線を通して、はんだ付けします。

このとき、レジストをはがした部分にまたぐようにはんだ付け(はんだブリッジ)します。